



2019年4月9日

「海外子会社経営リスク診断サービス」の提供開始

外部専門家と協力して日本企業の海外子会社のリスク診断を支援

SOMPOリスクマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスク」）は、4月9日から、「海外子会社経営リスク診断サービス」（以下「本サービス」）の提供を開始します。

1. 背景

グローバル化の進展に伴い、日本企業の海外現地法人は増加傾向にあります。なかでもアジア、特に中国・インド・ASEAN地域に進出する日本企業は増え続けています。また、近年では、アジアにおける「クロスボーダーM&A」など、進出企業による戦略的な事業再編も活発化しています。

一方で、海外には、自然災害や政情不安、感染症といった組織外部のリスクに加え、法務や税務、会計などに関する組織内部のリスクが存在します。そのようなリスクを放置すると、事業そのものの存続が難しくなるほどの大きな危機が発生することもあります。海外子会社においては、社内不正や与信管理の不備、契約書が現地の法律に則って作成されていないなどのリスクが顕在化する例も多くあります。

このような背景を踏まえて、SOMPOリスクは、海外子会社の総合的なリスク管理を支援するため、このたび、現地事情に精通した外部専門家と協力し、本サービスの提供を開始することとしました。

2. 本サービスの概要

(1) 内容

SOMPOリスクの専門コンサルタントと日本および現地の外部専門家が、それぞれリスク診断を実施し、診断後に報告書を提出します（ご要望に応じて報告会を開催します）。

【1】リスク診断の視点

- ① G（ガバナンス）：グループ方針やルールの徹底
- ② R（リスク管理）：事業リスクの把握、対策の実施
- ③ C（コンプライアンス）：事業活動における法令の順守

【2】手法

- ① リスク診断に必要な関連書類の精査
- ② 本社、現地担当者へのインタビュー など

(2) 特長

- ① ガバナンス・リスク管理・コンプライアンスの3つの側面から診断します。
- ② ガバナンスについては、親会社と子会社の2つの視点から診断します。
- ③ 診断後の対応方針について専門家がアドバイスします。

(3) 費用・期間^(*1)

【1】費用

300万円（税抜）～

【2】期間

3か月～6か月

*1 企業規模や支援内容により異なります。外部専門家による支援の費用は別途かかります。

3. 受注目標

年間10件、3,000万円の受注を目指します。

4. 今後の展開

SOMPOリスクは、本サービスを通じて、日本企業の海外子会社のリスク管理を支援し、海外まで含めた企業グループ全体のリスクマネジメント活動の水準の向上に寄与してまいります。

SOMPOリスクマネジメントについて

SOMPOリスクマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とするSOMPOホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「サイバーセキュリティ事業」を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、サイバー攻撃対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部
コーポレート・リスクコンサルティング部 ERMグループ [担当：横山（歩）、松原]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-9179（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクマネジメント株式会社
総務部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-4330

以上